

令和3年度 地域包括支援センターに対するひきこもり実態調査票

地域包括支援センター名	
氏名	
電話番号	

●この調査は、地域包括支援センターの皆様が日頃の活動の中で把握されているひきこもり状態にある方の数や状況等の情報を集計するものです。

●この調査は、令和3年度に県が策定するひきこもり支援に特化した新たな計画の基礎資料とすることを目的としています。

※「ひきこもり支援に特化した新たな計画」とは

少子高齢化など社会構造の変化や人々の価値観の多様化を背景に、大きな社会問題になっている「ひきこもり」について、その課題を的確に捉え、ひきこもり支援を推進していくための指針となる計画です。

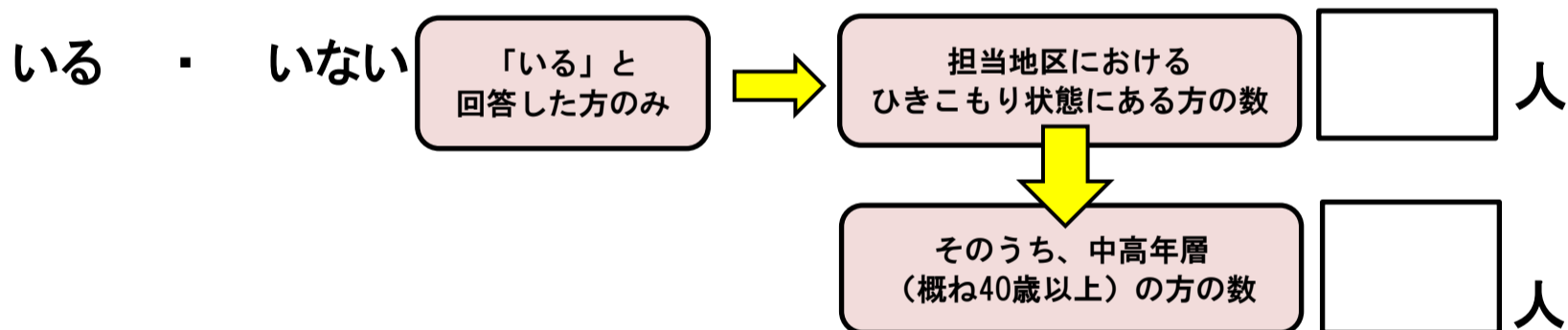
●「ひきこもり状態にある方」とは

概ね15歳以上(中学校卒業後)の者で、次のいずれかに該当する方

- ① 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせず、6か月以上にわたって、自宅にとどまり続けている状態の者
- ② 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流はないが、時々買い物や趣味の用事など他者と交わらない形で外出することがある者

※ただし、重度の障がい(身体・知的・精神)、疾病、高齢等で外出できない者を除く

(1) 担当地区におけるひきこもり状態にある方はいますか？(どちらかに○をつけてください)



(2) (1)で「いる」と回答した方は、担当地区にひきこもり状態にある方がいることをどのような方法で知りましたか。(当てはまるもの全てに○をつけてください。※複数回答可)

- | | | |
|--------------------|-----------------------|--------|
| 1. 当事者の家族からの相談 | 4. 関係機関からの情報提供 | 7. その他 |
| 2. 各世帯の見守りや安否確認時 | 5. 介護サービス提供事業者からの情報提供 |) |
| 3. 近隣住民からの情報提供(相談) | 6. 当事者からの相談 | |

(3) 地域包括支援センターの皆様が担当地区にひきこもり状態にある方がいることを知ったとき、どのような対応をすることが多いか教えてください。(最も多いものを1つ選び、○をつけてください)

- | | | |
|-------------------|-----------------------------------|------------------------------|
| 1. 関係づくりのための訪問を行う | 4. 当事者・家族に対し、相談窓口や支援機関について情報提供を行う | 6. 当事者・家族が相談窓口・支援機関に行く際に同行する |
| 2. 定期的な見守り・声かけを行う | 5. 相談窓口や支援機関に対し、当事者・家族に関する情報提供を行う |) |
| 3. 当事者の家族からの相談を聞く | 7. その他 | |

(4) ひきこもりに係る相談・支援において、連携している関係機関を教えてください。
(当てはまるもの全てに○をつけてください。※複数回答可)

- | | | | |
|---------------------|-------------------------|-------------------------------------|--------|
| 1.保健所・保健センター | 7.児童相談所 | 13.民生委員・児童委員 | 19.その他 |
| 2.生活困窮者
自立相談支援機関 | 8.学校
(スクールカウンセラー等含む) | 14.医療機関 | |
| 3.県福祉事務所 | 9.障害者就業・生活支援センター | 15.ひきこもり地域支援センター
(三重県こころの健康センター) | |
| 4.市役所・町役場 | 10.発達障害者支援センター | 16.民間支援団体
(NPO法人・フリースクール等) | |
| 5.若者就業サポートステーション | 11.障害福祉サービス事業所 | 17.家族会 | |
| 6.ハローワーク | 12.社会福祉協議会 | 18.特になし | |

(5) 地域包括支援センターの皆様が中高年層(概ね40歳以上)へのひきこもり支援で困っていることについて教えてください。(当てはまるもの全てに○をつけてください。※複数回答可)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------------|
| 1.ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない | 8.相談・支援に至るまで長時間経過しているケースが多く、対応が難しいと感じる |
| 2.当事者や家族からの相談に対して、適切な対応がわからない | 9.当事者がいる家庭の存在は把握しているが、ひきこもりの相談につなげられない |
| 3.当事者・家族が抱える悩みが多岐に渡っているため、対応に時間がかかる | 10.近隣住民等から情報提供や相談があるが、当事者・家族にアプローチができない |
| 4.家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない | 11.家族から相談があっても、相談が継続せず途切れてしまう |
| 5.関係機関との連携が十分ではないため、適切に紹介できない | 12.中高年層の当事者がいる家庭の存在を把握したことがない |
| 6.身近な地域にひきこもりに係る支援の社会資源がない | 13.その他 |
| 7.身近な地域にあるひきこもりに係る支援の社会資源を知らない | |

(6) 地域包括支援センターの皆様が若者層(概ね39歳以下)へのひきこもり支援で困っていることについて教えてください。(当てはまるもの全てに○をつけてください。※複数回答可)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------------|
| 1.ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない | 8.相談・支援に至るまで長時間経過しているケースが多く、対応が難しいと感じる |
| 2.当事者や家族からの相談に対して、適切な対応がわからない | 9.当事者がいる家庭の存在は把握しているが、ひきこもりの相談につなげられない |
| 3.当事者・家族が抱える悩みが多岐に渡っているため、対応に時間がかかる | 10.近隣住民等から情報提供や相談があるが、当事者・家族にアプローチができない |
| 4.家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない | 11.家族から相談があっても、相談が継続せず途切れてしまう |
| 5.関係機関との連携が十分ではないため、適切に紹介できない | 12.若者層の当事者がいる家庭の存在を把握したことがない |
| 6.身近な地域にひきこもりに係る支援の社会資源がない | 13.その他 |
| 7.身近な地域にあるひきこもりに係る支援の社会資源を知らない | |

(7) 地域包括支援センターの皆様がひきこもり支援のために必要と考える施策を教えてください。
(当てはまるもの全てに○をつけてください。※複数回答可)

- | | | |
|--------------------|-----------------|-----------------------|
| 1.相談窓口の充実 | 7.社会体験活動の提供 | 13.学校や医療機関との連携 |
| 2.相談窓口の周知・PR | 8.就労支援 | 14.ひきこもり支援に関する地域の理解促進 |
| 3.専門的な医療支援・カウンセリング | 9.就学支援 | 15.その他 |
| 4.家族支援 | 10.金銭的支援 | 〔 〕 |
| 5.訪問支援 | 11.NPO等支援団体の充実 | |
| 6.居場所づくり | 12.相談支援者のスキルアップ | |

(8) ひきこもりの状態から社会復帰した人を知っていますか。(どちらかに○をつけてください)

知っている ・ 知らない

(「知っている」を選んだ場合)
社会復帰のきっかけ等、何か知っていることが
あれば教えてください。(無ければ空欄)

〔 〕

(9) 地域包括支援センターの皆様が地域共生社会の実現に向けて地域に求めることを教えてください。(自由記述)

自由記述欄

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。
三重県子ども・福祉部地域福祉課 (fukushi@pref.mie.lg.jp) へ提出してください。

令和3年度 在宅介護支援センターに対するひきこもり実態調査票

在宅介護支援センター名	
氏名	
電話番号	

●この調査は、在宅介護支援センターの皆様が日頃の活動の中で把握されているひきこもり状態にある方の数や状況等の情報を集計するものです。

●この調査は、令和3年度に県が策定するひきこもり支援に特化した新たな計画の基礎資料とすることを目的としています。

※「ひきこもり支援に特化した新たな計画」とは

少子高齢化など社会構造の変化や人々の価値観の多様化を背景に、大きな社会問題になっている「ひきこもり」について、その課題を的確に捉え、ひきこもり支援を推進していくための指針となる計画です。

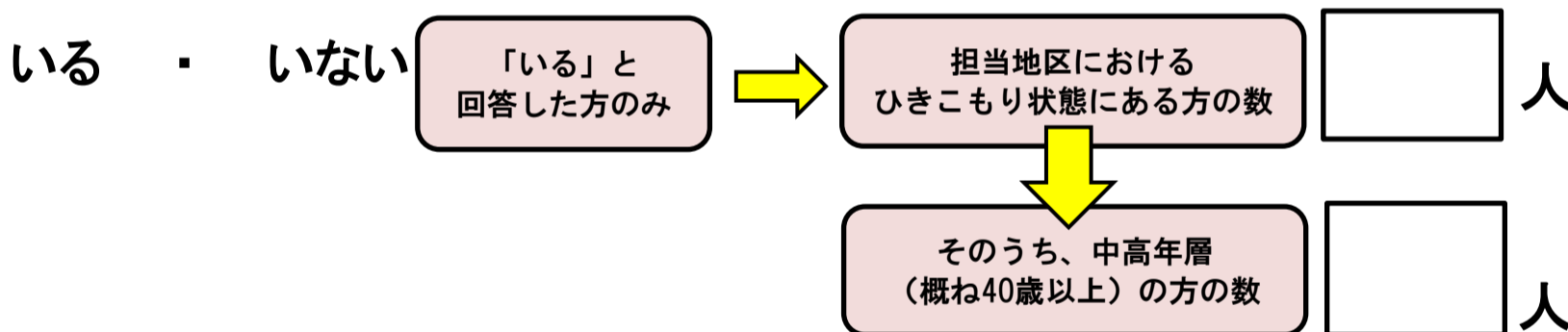
●「ひきこもり状態にある方」とは

概ね15歳以上(中学校卒業後)の者で、次のいずれかに該当する方

- ① 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせず、6か月以上にわたって、自宅にとどまり続けている状態の者
- ② 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流はないが、時々買い物や趣味の用事など他者と交わらない形で外出することがある者

※ただし、重度の障がい(身体・知的・精神)、疾病、高齢等で外出できない者を除く

(1) 担当地区におけるひきこもり状態にある方はいますか？(どちらかに○をつけてください)



(2) (1)で「いる」と回答した方は、担当地区にひきこもり状態にある方がいることをどのような方法で知りましたか。(当てはまるもの全てに○をつけてください。※複数回答可)

- | | | |
|--------------------|-----------------------|--------|
| 1. 当事者の家族からの相談 | 4. 関係機関からの情報提供 | 7. その他 |
| 2. 各世帯の見守りや安否確認時 | 5. 介護サービス提供事業者からの情報提供 | |
| 3. 近隣住民からの情報提供(相談) | 6. 当事者からの相談 | |

(3) 在宅介護支援センターの皆様が担当地区にひきこもり状態にある方がいることを知ったとき、どのような対応をすることが多いか教えてください。(最も多いものを1つ選び、○をつけてください)

- | | | |
|-------------------|-----------------------------------|------------------------------|
| 1. 関係づくりのための訪問を行う | 4. 当事者・家族に対し、相談窓口や支援機関について情報提供を行う | 6. 当事者・家族が相談窓口・支援機関に行く際に同行する |
| 2. 定期的な見守り・声かけを行う | 5. 相談窓口や支援機関に対し、当事者・家族に関する情報提供を行う | |
| 3. 当事者の家族からの相談を聞く | | 7. その他 |

(4) ひきこもりに係る相談・支援において、連携している関係機関を教えてください。
(当てはまるもの全てに○をつけてください。※複数回答可)

- | | | | |
|---------------------|-------------------------|-------------------------------------|--------|
| 1.保健所・保健センター | 7.児童相談所 | 13.民生委員・児童委員 | 19.その他 |
| 2.生活困窮者
自立相談支援機関 | 8.学校
(スクールカウンセラー等含む) | 14.医療機関 | [] |
| 3.県福祉事務所 | 9.障害者就業・生活支援センター | 15.ひきこもり地域支援センター
(三重県こころの健康センター) | |
| 4.市役所・町役場 | 10.発達障害者支援センター | 16.民間支援団体
(NPO法人・フリースクール等) | |
| 5.若者就業サポートステーション | 11.障害福祉サービス事業所 | 17.家族会 | |
| 6.ハローワーク | 12.社会福祉協議会 | 18.特になし | |

(5) 在宅介護支援センターの皆様が中高年層(概ね40歳以上)へのひきこもり支援で困っていることについて教えてください。(当てはまるもの全てに○をつけてください。※複数回答可)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------------|
| 1.ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない | 8.相談・支援に至るまで長時間経過しているケースが多く、対応が難しいと感じる |
| 2.当事者や家族からの相談に対して、適切な対応がわからない | 9.当事者がいる家庭の存在は把握しているが、ひきこもりの相談につなげられない |
| 3.当事者・家族が抱える悩みが多岐に渡っているため、対応に時間がかかる | 10.近隣住民等から情報提供や相談があるが、当事者・家族にアプローチができない |
| 4.家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない | 11.家族から相談があっても、相談が継続せず途切れてしまう |
| 5.関係機関との連携が十分ではないため、適切に紹介できない | 12.中高年層の当事者がいる家庭の存在を把握したことがない |
| 6.身近な地域にひきこもりに係る支援の社会資源がない | 13.その他 |
| 7.身近な地域にあるひきこもりに係る支援の社会資源を知らない | [] |

(6) 在宅介護支援センターの皆様が若者層(概ね39歳以下)へのひきこもり支援で困っていることについて教えてください。(当てはまるもの全てに○をつけてください。※複数回答可)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------------|
| 1.ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない | 8.相談・支援に至るまで長時間経過しているケースが多く、対応が難しいと感じる |
| 2.当事者や家族からの相談に対して、適切な対応がわからない | 9.当事者がいる家庭の存在は把握しているが、ひきこもりの相談につなげられない |
| 3.当事者・家族が抱える悩みが多岐に渡っているため、対応に時間がかかる | 10.近隣住民等から情報提供や相談があるが、当事者・家族にアプローチができない |
| 4.家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない | 11.家族から相談があっても、相談が継続せず途切れてしまう |
| 5.関係機関との連携が十分ではないため、適切に紹介できない | 12.若者層の当事者がいる家庭の存在を把握したことがない |
| 6.身近な地域にひきこもりに係る支援の社会資源がない | 13.その他 |
| 7.身近な地域にあるひきこもりに係る支援の社会資源を知らない | [] |

(7) 在宅介護支援センターの皆様がひきこもり支援のために必要と考える施策を教えてください。
(当てはまるもの全てに○をつけてください。※複数回答可)

- | | | |
|--------------------|-----------------|-----------------------|
| 1.相談窓口の充実 | 7.社会体験活動の提供 | 13.学校や医療機関との連携 |
| 2.相談窓口の周知・PR | 8.就労支援 | 14.ひきこもり支援に関する地域の理解促進 |
| 3.専門的な医療支援・カウンセリング | 9.就学支援 | 15.その他 |
| 4.家族支援 | 10.金銭的支援 | 〔 〕 |
| 5.訪問支援 | 11.NPO等支援団体の充実 | |
| 6.居場所づくり | 12.相談支援者のスキルアップ | |

(8) ひきこもりの状態から社会復帰した人を知っていますか。(どちらかに○をつけてください)

知っている ・ 知らない

(「知っている」を選んだ場合)
社会復帰のきっかけ等、何か知っていることが
あれば教えてください。(無ければ空欄)

〔 〕

(9) 地域包括支援センターの皆様が地域共生社会の実現に向けて地域に求めることを教えてください。(自由記述)

自由記述欄

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。
三重県子ども・福祉部地域福祉課 (fukushi@pref.mie.lg.jp) へ提出してください。